

## 三位一体改革の推進についての会長談話の発表（全国知事会）

本会の梶原会長（岐阜県知事）は、11月26日（水）、三位一体改革について会長談話を発表しました。

談話は以下のとおりです。

## 三位一体改革の推進について（会長談話）

小泉総理大臣は、去る11月18日、「平成16年度予算において1兆円を目指して国庫補助負担金の廃止・縮減を行うほか、税源移譲についても16年度に確実にを行うので、国庫補助負担金所管大臣において、この方針に従って、改革案の取りまとめを行うよう」指示されたところである。

このような内閣総理大臣のリーダーシップを高く評価するものであり、関係大臣におかれては、この内閣総理大臣の指示の趣旨に沿って、改革案の取りまとめを早急に行っていただくよう、全国知事会として期待している。

その際、教職員の退職手当等に係る経費を国庫負担金の対象から除外することなど地方公共団体の自由度の拡大につながらない措置や単純な補助率の削減などは、単なる地方への負担転嫁であり、今次の改革の趣旨に反し、住民福祉を守るため、絶対に容認できないものである。

三位一体の改革が真の地方自治の確立につながるものとなるよう、強く望むものである。

平成15年11月26日

全国知事会

会長 梶原 拓